

# 令和8年度 確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐくむ 学校力向上プラン【学校評価計画書】

堺市立 金岡南小学校  
校長 佐藤 真理子

## 中学校区におけるめざすこども像

自分のよさを知り、失敗を恐れなくて挑戦する子

### 令和8年度 重点目標

1. 学ぶのが楽しいと思える授業づくり ①「学びのコンパス」に基づいた、一人ひとりの主体性を引き出し、自身の問いを解決できるような授業づくり ②ユニバーサルデザインに基づいた授業づくり
2. 一人ひとりの自尊感情を育てる ①「役に立っている」という自己有用感を育む ②価値ある行動を見逃さず、言葉にする
3. 体力の向上
4. 安心できる環境づくり ①安心できる教室づくり ②いじめ・不登校の未然防止、いじめ対応の徹底、不登校の支援 ③安全指導の徹底 ④美しい学校づくり

### 「確かな学び」の現状

・研修テーマを「ともに学ぶこどもの育成」、めざすこども像を「自分の考えを、進んで表現する子」とし、研修を進めてきた。児童アンケート調査では、「自分の考えをノートに書いている」「1時間の流れが分かるようにノートに書いている」で8割以上児童が肯定的であることから、自分の考えを表現しようとする児童の姿勢が見えた。一方「授業中進んで発言や反応する」という項目は8割を下回っている。そこで、今年度は、進んで発言できるような取り組みを行ってきたい。  
・研究教科は、これまでの国語から算数とし、研究を深めていきたい。

### 「豊かな心・健やかな体」の現状

・いじめを見逃さない学級づくりに取り組み、生活アンケートで否定的な回答があれば、即時に対応することで、早期発見・早期解決に努めている。  
・自尊感情については、学年が上がるにつれ、自己肯定感や自己有用感を低くなる傾向があるので、こどもたちのちょっとした善い行いを気づいて褒めることを続けていきたい。  
・「運動が好きだ」の肯定率は84%で、昨年度と同等の割合である。体育の時間に折り返し運動を行うことで、怪我なく楽しく体育に取り組めるようになったことや、体育委員会によるドッジボール大会や鬼ごっこ大会などの啓発活動を通して、運動することの楽しさが伝わり、結果につながっていると見える。しかし運動能力・技能や新体力テストの結果では、課題が見られるので、楽しく運動するための力をつけていきたい。・ケガ等での保健室入室者が多いため、安全指導を徹底していきたい。

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組、★中学校区での取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認 (～12月)	達成状況 (年度末)	
								自己評価	学校関係者評価
確かな学び	主体的・協働的学び	児童が主体的に学習に取り組み、「ともに学ぶこども」を育成する。	●自分の考えをもとに、グループで学習したり、全体で共有したりする授業や教材の研究をすすめる。	ノートに自分の考えを書き、児童どうしがその考えを共有したり話し合ったりしている。	学校教育アンケート	2学期末 3学期			
			●家庭での自立した学習を支援するための、「自主学习ノート」「MY手帳」の指導を徹底する。	全学年で自主学习ノートに取り組み、コメント等で評価している。	児童のノート ノートグランプリ	2学期末 3学期			
	授業改善	「全員参加」「全員理解」の魅力ある授業によって、思考力・表現力・表現力を高める。	●「考える力」「表現する力」を伸ばす、魅力ある授業の研究を進める。	児童のノートやタブレット端末に、思考の深まりや変容が表れている。 グループや全体での交流の中で、思考の深まりや変容が表れている。	授業実践 児童のノート アンケート	2学期末 3学期			
●全教職員が、公開授業を行うとともに、積極的に参加することで、授業力を向上させる。 ★中学校区内の他校における研究授業を参観し、授業改善及び指導力向上に努める。			全教職員が公開授業を行う。アンケートの各項目の評価が上がっている。	公開授業 アンケート	毎学期末				
豊かな心の育成	一人ひとりに「居場所」と「出番」を保障する人権教育を充実させ、豊かな人間性を育成する。	●すべての学習活動において、児童が安心して学べる学級集団をめざして、「居場所と出番」のある学級づくりを進める。 ●いじめを見逃さない学級づくりのために、学校生活アンケートで児童の生徒指導上の困りごとを表出させ、担任を中心に早期対応にあたる。 ・道徳の時間を核として、教科学習との関連を図りながら、計画的・継続的に道徳教育を充実させる。	「クラスで安心してすごせますか？」の肯定率	学校教育アンケート 学習の振り返りシート	2学期末				
			「学校は、きまりを守る態度の育成や、いじめを見逃さない学級づくりに取り組んでいる」の肯定率	学校教育アンケート 学校生活アンケート	2学期末 毎学期				
			「道徳」(光村図書)「みらいをひらく」を効果的・計画的に活用する。	授業実践	2学期末				
体力向上	運動に親しむ機会や学習を通して、体力を向上させる。 ●体力の向上を意識した準備運動や基礎感覚づくりの運動を系統立てて取り入れ、身体の使い方を体で感じられるような学習機会の工夫をする。 ・委員会の啓発活動やリズム運動などを取り入れ、児童に日常的に体力向上を意識づける。 ・栄養教諭と担任等が連携し、各教科における食育や給食時間における食育の取り組み、および給食委員会の啓発活動を通し、食の大切さを考え、好き嫌いをなく食べようとする意識を高める。	折り返し運動を主にした体力向上や、基礎感覚づくりをねらった授業に計画的に取り組む。	授業実践	2学期末					
		「運動することは好きだ」の肯定率	学習の振り返りシート	2学期末					
地域協働	学校情報の積極的な発信を行うとともに、保護者や地域とともに歩むチーム学校づくりを進める。	・学校ホームページ、校報等を活用し、教育活動の現状や成果等の発信に努める。 ★中学校区3校から連携し、つながる教育を進める。 ・生活科・総合的な学習の時間等で地域人材を活用した取組を行う。	1学期より残食量を減らす。	残食調査 6月、11月	2学期末				
			学校ホームページや校報等で、教育活動について情報を発信する。	実践報告	2学期末				
			3校で情報共有、合同研修等で連携をしていく。2・3年「校区探検」や4年「防災教育」等で連携し取り組む。	実践報告	3学期				

校長より (年度末)

学校関係者評価者から (年度末)